

仙台白百合学園 学園報

Sendai
Shirayuri Gakuen
Campus Report

Vol. 111

仙台市泉区紫山1-2-1
幼稚園: (022) 777-6777
小学校: (022) 777-3777
中学校: (022) 777-5777

令和6年
3月1日発行

<https://sendaishirayuri.net/>

神は真実な方です。
あなたがたを耐えられない試練にあわせることはなさらず、
試練とともにそれに耐えられるよう、逃れる道も備えてくださいます。
(コリントの信徒への手紙Ⅰ 10章13節)

中学校 (3年生 天文台学習)

小学校 (1年生 スケート教室)

幼稚園 (年長児・泉ヶ岳子り遊び)

高等学校 (3年生 成人を祝うミサ)

エンガレッジコース (遠足)

仙台白百合学園

表彰者一覧

第三回 宮城近県大会ソフトテニス大会 第二位 齋藤ひまり 中一 高橋 凛桜 中一 奥田 花香 中一 安部 紗花	第四十二回 仙台市泉区中学校新人ソフトテニス大会 優勝 齋藤ひまり 中一 高橋 凛桜 中一 奥田 花香 中一 安部 紗花	令和五年度 仙台市中学校新人大会 第一位 齋藤ひまり 中一 高橋 凛桜 中一 奥田 花香 中一 安部 紗花	第三十九回 宮城県中学校選抜ソフトテニス大会 第五位 高橋 凛桜 中一 齋藤ひまり	第六十九回 仙台市児童生徒理科作品展 部会長賞 中一 竹下 和子	日本学生科学賞 佳作 中一 竹下 和子	令和五年度 仙台市緑と花いっぱい絵画コンクール 百年の杜づくり賞 中一 佐々木 彩芭	文集「こだま」六十八号 掲載 生活文 中二 千葉 心音 詩 中一 岡崎 千紗 日記文 中一 安倍 真央 生活文 中二 金子 桜愛 創作 中二 残間 月子	第七十七回 仙台市中学生徒書きぞめ展覧会 硬筆の部 特選 佐藤 陽和 中一 鈴木 くらら 中二 横江 日向子 中二 諸橋 葉音 中二 佐藤 理子 中二 木村 理子 中二 鈴木 くらら 中二 特選 佐藤 陽和 中二 毛筆の部 部会長賞 石橋 咲花 中二 特選 佐藤 陽和	令和五年度 泉区中学生バドミントン錬成大会 第三位 中一 佐藤 陽和
--	---	--	--	--	-------------------------------	--	--	---	--

令和四年度 大会・賞・受賞者 宮城県高等学校文化連盟賞 放送部門 高一 鈴木 美香 高一 横田 凧海	令和五年度 大会・賞・受賞者 第九回 高校生スイーツコンテスト 準グランプリ 高三 加茂 侘奈 高三 庄子 彩花	第四十七回 文部科学大臣杯 全国高校囲碁選手権大会宮城県大会 女子個人の部 第一位 高二 大沢 希	第三十七回 東北地区高等学校囲碁選手権大会 宮城県代表選抜戦 団体戦代表 高二 大沢 希	NHK杯 全国高校放送コンテスト宮城県大会 ラジオドキュメント部門 最優秀賞 高三 菅野 愛奈 高三 早坂 希乃香 テレビドキュメント部門 最優秀賞 高二 横田 凧海 高三 加茂 侘奈 優秀賞 高三 鈴木 美香 高三 菅野 愛奈 優良賞 高三 早坂 希乃香 高三 鈴木 美香 朗読部門 優良賞 高三 加茂 侘奈 高三 鈴木 美香 入選 高二 横田 凧海 高三 加茂 侘奈 高三 鈴木 美香	第二十四回 原阿佐緒賞 青少年の部 奨励賞 高三 石森 あこ 高三 山本 花南 優秀賞 高三 三谷 有乃	第一回 ものづくり大学高校生デザインコンテスト 奨励賞 高三 庄子 彩花	第七十七回 東北高等学校卓球選手権大会 出場 高二 遠藤 愛佳	日本英語検定協会 奨励賞 高校生全員	第七十六回 宮城県高等学校英語弁論大会 第一部 第一位 高二 ウィルソン 永美
--	--	---	--	--	--	--	---	------------------------------	---

第七十二回 宮城県高等学校書道展覧会 第一部 金賞 高三 及川 愛心 第四部 金賞 高三 李 安陽	第四十二回 宮城県高等学校放送コンテスト新人大会 アナウンス部門 優良賞 高一 大友 理央 朗読部門 優良賞 高一 鈴木 美香 オートイオヒクチャ部門 優良賞 高一 横田 凧海 高一 山路 彩葉 高一 佐々木 夕愛 高一 大友 理央 高一 佐々木 夕愛 高一 鈴木 美香 高一 佐々木 由莉 麻帆	第十三回 上智大学全国高校生英語弁論大会 ジョン・ニッセル杯 英検賞 高三 高田橋 来美	第七十一回 東北六県中学校英語暗唱・高等学校英語弁論大会 第一部 第一位 高二 ウィルソン 永美	第二十回 宮城県高等学校文芸作品コンクール 俳句部門 入選 高二 三島 愛 高二 牛木 柚愛 高二 尾崎 和花 高二 條 真理弥 高二 唐 真理緒 高二 大沢 希	第二十四回 宮城県高等学校囲碁九路盤大会 第三位 高二 大沢 希	第三十七回 東北地区高等学校囲碁選手権大会 団体戦の部 第三位(主将) 高二 大沢 希	第三十八回 全国高等学校文芸コンクール 俳句部門 入選 高二 唯野 乙羽	第三十四回 大ケヤキ全国書道展覧会 特別賞 高二 石橋 菜花	第四十回 泉・黒川地区高等学校美術展 優秀賞・特別賞 高三 林 真生	第七十六回 宮城県高等学校美術展 優秀賞 高三 林 真生 高二 栗山 ことゆき	宮城県高等学校文化連盟賞 英語部門 高二 ウィルソン 永美 文芸部門 高二 唯野 乙羽
--	---	--	--	--	--	---	--	--	--	--	--

令和5年 アヴニール (未来) 募金のご報告

下記の皆様におかれましては、仙台白百合学園に対し深いご理解のもと、ご寄付を賜りましたことに対して、深く感謝の意を表します。

ご協力頂いた
皆様

- 高橋 由紀様
- 伊藤 りつ子様
- 工藤 陽子様
- 三浦 賞子様
- 磯目 修一様
- 浅利 まみ様
- 浅利 圭哉様
- 福士 雅代様
- 佐藤 泰光様
- 佐藤 希美様

※上記の皆様以外にも多くの方々からご寄付を賜りましたが、ご芳名の記載を希望されなかった方のお名前は掲載しておりません。
令和6年 アヴニール(未来)募金につきましては、後日HPや学園報等でお知らせ致しますので、皆様のご協力をどうぞ宜しくお願い申し上げます。



祝 卒業に寄せる言葉

エスカレッジコース三年生

引地 里嘉



卒業によせて

仙台白百合学園中学・高等学校

校長 藤田 正紀



ご卒業おめでとうございます。卒業生の皆さんはどんな気持ちを抱いているでしょうか。令和五年度は、新型コロナウイルス感染症の五類移行を受け、日常生活や学校生活の多くの部分がコロナ前の状態に戻る、あるいは戻りつつあるという経験をした年でした。過去三年にわたって様々な制限下の生活を余儀なくされてきた皆さんにとって、同世代あるいは異世代の人々との交流やふれあいを経験する機会が増えたことは、プラスに働いたことと思います。

一方で、ロシア・ウクライナ間の紛争が二年近くも過ぎて終結しない中で、イスラエルとハマスの衝突が勃発し、その犠牲者の増加と痛ましい惨状に新たな衝撃を受ける年でもありました。有史以来繰り返される人類同士の争いの歴史を思い起こしつつ、世界中の人々の尊厳が守られ維持できる日は

いつになるのか、改めて強く問題意識を持つことが多い一年でした。年が明けて元日に発生した能登半島地震に関しては、その被害や被災状況が目を追うごとに明らかになるとともに、復興・復興の困難さも浮かび上がり、課題が山積んでいます。

皆さんには、卒業後も世界で起きていることにしっかりと目を向け、関心を持ち続けてほしいと願います。戦争や災害で傷ついた人の心を癒すためには、長期間にわたる周囲のサポートが必要で、国内のごとくであれ、遠く離れた国や地域のごとくであれ、私たちが関心を持ち、励まし続けることが人の心を支え、人が生きていく力につながるのだと信じ、小さな事であっても行動に結びつけることが、私たちに課せられた役割です。

仙台白百合学園での教育や学校生活を通じて、皆さんは、社会から忘れられがちの人々に共感し、愛の心をもって人を支え、人を活かす、人をつなぐことができる女性として社会に貢献するための素地をしっかりと培ってこられました。これからもその精神を忘れず、実践していかってほしいと願います。特に皆さんは、逆境の中でもできることは何かを見出し、工夫をしながら実現に導くということは何度も経験してきました。是非自信を持って歩んでいってください。

また、卒業後も祈る心を大切にしてい

ください。「祈る」という行いは、一つのことに對して心を向ける、ということにつながります。心を何かに向けることができる人は、心を合わせることができ、そしてそれができることは、皆さんの内面の大きな支えになります。

すべての卒業生の前途が幸多からんことを祈念し、門出を祝します。

わたしの兄弟であるこのもつとも小さい者の一人にしたのは、わたしにしてくれたことなのである。

(マタイによる福音書 25章 40節)

卒業を迎えて

卒業生の言葉

高校三年生 森 凜々子



小さな制服に身を包み、初めて仙台白百合学園の門をくぐった日から、十二年が経ちました。毎日聞いた聖堂の鐘、守衛さんと交わした朝夕の挨拶、何気ない日常生活の全てが、今ではすてきな思い出です。

白百合生として、私の胸には常に「白百合プライド」という言葉がありました。本学園で学ぶことへの喜びと誇りを持ち、様々なことに挑戦し続けた十二年間、人生の基礎を作るにふさわしい貴重な時間でした。特に高校生活の三年間は、中学校から続けてきたオンラインでの幹部としての活動や探究学習などを通して、視野が広がり周りを俯瞰する力を身に付けることができました。このような経験ができたのも、本学園で学べたからこそであり、私と関わりを持ってくださった全ての方々の助けがあったおかげです。

私たち卒業生は、高校生活の半分以上がコロナ禍のために多くの制約に縛られ、学校行事だけでなく日常生活も思うように送ることができませんでした。そんな中、昨年五月に新型コロナウイルスが五類に移行し、マスクを着けずに友達と笑い合える日常に戻ってきました。当たり前の生活がどれほど有難いのかを、身をもって感じました。そして、この三年間苦業を共にしたクラスメイトの友人には特に感謝の気持ちがいっぱいです。どんな学校行事でも全力かつ楽しんで取り組み、その結果に関わらず喜怒哀楽を共有できた時間は、私にとってかけがえのない宝物です。互いを思いやり尊重して、最適解を導こうとする学級全体の姿勢が大好きでした。三年間どんな時もそばにいてくれてありがとう。

最後に、これまで愛を持ってご指導

春の息吹が感じられる三月、私たちエスカレッジコース三年生は、思い出深い学び舎から旅立ちの日を迎えました。私が卒業という大きな節目を迎えられたのも、両親や先生方、友人など多くの人に支えて頂けたからだと思っています。この場を借りて感謝申し上げます。

私は幼稚園の頃から仙台白百合学園に通い続け、今年で十四年となります。十四年間学び続けた校舎や思い出の詰まった制服など、卒業の喜びと共に寂しさが込み上げてきます。そんな十四年間、そして高校生活の三年間、様々な思い出がありますが、特に力を入れ印象深かったのが校内外のボランティア活動です。エスカレッジコースでは、自分のやりたい事を見つけ、自由に使える時間が多いことから、多くの活動に参加することができました。活動を続ける上で学校生活だけでは関わることの無い方々との交流や様々な学びがあり、その経験があったからこそ今の進路に繋がりました。在校生の方々にも、そういった興味のあることがあれば、自由な時間を使って様々な事に挑戦してみたいと思っています。

この貴重な三年間、学校生活や様々な行事で友人とすごした時間はとても良い思い出となりました。卒業生として、在校生の皆様がよい思い出となるような楽しい学校生活を送ることができるよう、お祈りしております。

保護者から

卒業生保護者 柴崎 恵美

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。今年度で創立一三〇周年を迎えた伝統ある仙台白百合学園を卒業し、それぞれ新たな道へ進みます。

皆さんの高校生活はコロナ禍で行事なども制限され、やっと修学旅行や体育祭が実施されました。そして三年生の学園祭は一般公開も従来通りに戻り、中・高生だけでなく、併設の幼稚園・小学校の発表、仙台白百合女子大学の学生も参加し、白百合学園が一丸となって開催されました。暫くぶりに保護者も参加でき、娘たちと共に楽しいひと時を過ごせました。

特色である探求活動のプログラムでは横断的で総合的な学習を通して、よりよく課題を解決する力、自身の生き方を考えていくための資質を磨き、能力を培いました。

この紫山の広いキャンパスでゆったりとした時間の中、穏やかに落ち着いて学べる環境、少人数の女子教育できめ細やかな先生方のご指導を賜りましたことに感謝申し上げます。

卒業生の皆さん、白百合の精神に誇りを持ち、これからの時代に求められる女性が活躍する場で力を発揮し、次の世代に受け継いでくれることを期待しております。



最後に校長先生、諸先生方、学園で関わってくださったすべての方に御礼申し上げます。

教職員から

高校三年学年主任 澤 猛史

卒業する皆さんへ。まずは卒業おめでとうございます。皆さんにとって高校生活はどんな三年間だったのでしょうか。この三年間はコロナ禍において大きく生活習慣が変化する過渡期でした。振り返ると皆さんが中学三年生だったとき、コロナ禍によっていろいろな学校行事が中止になりました。特に中総体や学園祭が中止になったのは大きなことでしたね。皆さんは少なからず残念な気持ちを抱えたまま、高校生活をスタートしたのだと思います。

しかし皆さんは実に柔軟に対応できていました。特に今年度、私は高3担当という立場で見ましたが、学校行事での活躍は素晴らしいものでした。学園祭や体育祭では最上級生らしく行事の雰囲気盛り上げ、合唱コンクールでは3クラスとも素晴らしい歌声を響かせ後輩たちや教職員を感動させてくれました。学校行事に関わる活動には体育や音楽等の技能の他に、協働性やサーパントリーダーシップ等も求められます。それらを皆さんは十分に発揮し、後輩たちを導く手本となってくれました。コロナ禍により一旦リセットされた学校行事の充実が、皆さんの手によってより大きなものとなり後輩達に受け継がれたと感じました。

学校行事で発揮された、あるいは学校生活を通して培われた協働性をはじめとする様々な力は今後に生かされていくと思います。是非初心を忘れず、その力を遺憾なく発揮してください。名残惜しい気持ちでいっぱいですが、皆さんの今後の活躍を心からお祈りしています。

卒業する皆さんへ。まずは卒業おめでとうございます。皆さんにとって高校生活はどんな三年間だったのでしょうか。この三年間はコロナ禍において大きく生活習慣が変化する過渡期でした。振り返ると皆さんが中学三年生だったとき、コロナ禍によっていろいろな学校行事が中止になりました。特に中総体や学園祭が中止になったのは大きなことでしたね。皆さんは少なからず残念な気持ちを抱えたまま、高校生活をスタートしたのだと思います。

定年を迎えて



中学・高等学校教諭 高橋 行男

「天の下のでき事には、定められた時がある。」という聖句は、在職中に何度聞いたことがあるでしょう。その意味を深く考えたことはあまりありませんでしたが、今回は考えざるを得ません。

私が縁あって仙台白百合に奉職したのは、今から34年前の平成2年のことでした。仕事を始めて、学園のことをもっと知りたいと思い、学園の歴史を調べてみると、偶然にも白百合の第6代校長の息子である故横澤四郎教授が私の大学院時代の指導教官であったことが分かり驚きました。

私が勤めた平成2年は、今では考えられないような古風で伝統的な校風が漂う環境でした。たとえば、廊下側の前列の生徒は授業が始まる前に廊下に出て、先生の姿が見えると「先生がいっちゃいました」と教室の生徒に呼びかけたり、職員室では煙草を吹かす先生もいらっちゃったことなどが印象的でした。当時はネットなどもなく、情報伝達や交流はすべて対面で行われていました。生徒のいたすらも古風で、下駄箱にラブレターを入れたり、教卓の上に校外学習で作った絵付けしたけしを敷き詰めたりされたことも、今では懐かしい思い出です。

また、白百合ファミリーとの縁もあり、現在のグローバルスタディズ学科の立ち上げに貢献された故阿野文朗教授も私がホーソーンを研究していたことから20年以上にわたり仙台談話会に声をかけていただき、参加し発表の場を与えていただいたことや、他大学の先生方との交流や講演会に招いていただ



事務 佐藤 則子

仙台白百合学園との出会いは、姉が借りてきた一冊の本でした。夢中で読んだその本には「仙台白百合学園図書館」の印がありました。事務職員として、図書館の仕事に携わり、生徒時代に読んだ本には「過去の時」が詰まっていて、新着新本からは「新しい風」を感じながら生徒、教職員の皆様との出会いが力となり勤務することができました。読書には始まりがあり、終わりがあります。本の中で大冒険や、理不尽な出来事があっても、起承転結があって最後にはちゃんと着地点が用意されています。本を開いて、閉じる、そしてまた開く。このリズムは日常の安心感にも繋がります。

1984年マザー・テレサが来仙されたとき、学園で公式記者会見が行われ、一番前の席でマザー・テレサの話を聴く機会に恵まれました。その第一印象は淡々と語る小さなおばあちゃん。マザー・テレサの質素な佇まいに衝撃を受けました。その翌日、数本のカセットテープを渡され、記者会見の様子を文字にして書き出す作業をすることに。テープレコーダーを何度も止めては巻き戻しをして書き出す作業は、録音されたマザー・テレサの美しい英語を夢に見るまで、「愛は家庭から始まる。清い心が平和を生み出す。」今もこの言葉の重みを実感しています。

1996年に発行された「仙台白百合学園歴史資料集」は、その10年以上前か



①せんそうが
おわるように
おいのりしたい。
②まいにちてつぼうを
しているよ。
まえまわりがすぎ。
(すがい えりやべす)

①あしが
はやくなるように
おねがしたい。
②かぜが
きもちいいから
すべりだいがすぎ。
(かやば あらた)

①けがやびょうきを
しないように
まもってね。
②おそとでする
かくれんぼがすぎ。
(いとう ゆか)

年長児にインタビュー
Q1 神様とお話しできたら Q2 一番好きな遊びは?



幼稚園

①じしんやせんそうが
はやくおわりませ
ようにおねがし
たい。
②としよしつで
えほんをよむのが
だいすき。
(ふじわら りりか)

①そらをとんで
イエスさまや
マリヤさまにあたり
いろんなばしよを
りよこつしてみたい。
②れんぞくでなわとびを
とぶのがきもちいいな。
(つづき わかこ)



①みんなのこころが
やさしくなつて
せんそうを
やめてほしい。
②おねえちゃんとする
こおりおに。
(すがわら はんな)

①はやくせんそうが
おわりませようよ。
②こうえんでする
サッカーがだいすき。
(おがわ ゆうき)



①おそらのくもを
さわってみたい。
ふわふわして
きもちよさそう。
②なわとびで
はしりとびを
するのがすぎ。
(たかはし にこ)

①ちきゆうさいがい
なくなるように
おねがしたい。
②おにぎつでたくさん
はしるのがすぎ。
スキーウェアをきて
ゆきであそぶこと。
(やまもと たいせい)



①もつとおおきく
なれるように
みまもつてね。
②おそとでする
おにぎつがすぎ。
(にいぬま よう)

①かみさま じしんで
こまっているひとを
たすけてほしい。
②ゆきがふつたら
そりあそびを
すること。
(たかはし やま)



今後の行事予定



- 4月13日(土).....園庭開放 9:30~11:30
 - 5月18日(土).....園庭開放 9:30~11:30
 - 6月7日(金).....ようちえんであそぼう 10:00~11:30
 - 6月22日(土).....園庭開放 9:30~11:30
- ※変更の可能性もありますので事前にお問い合わせください。

●事前にお電話かメールでお申し込みください。皆様のご参加をお待ちしています。
TEL022-777-6777 kinder-info@sendaishirayuri.net

ロンちゃんBlogもご覧下さい。

<https://kd.sendaishirayuri.net/>

きれいな音だね!

わたしもひけるかな!?

仙台白百合女子大学生と！楽器の演奏と人形劇

仙台北百合女子大学の先生とお姉さま方による、人形劇と楽器の演奏会が行われました。

人形劇では、大きな狼や可愛い動物達が登場する赤ずきんのお話に、子ども達は夢中になっていました。お話の最後には、防犯のお約束もイラストで教えて頂きました。

演奏会では、子ども達がよく知っている曲を様々な楽器で演奏して下さり、初めて耳にする音色を、歌を口ずさみながら楽しんでいました。ハープを実際に触らせて頂くこ

ともでき、どんな音が鳴るのか、子ども達はドキドキ。大学の先生の素敵なピアノには、真剣な表情で聴き入っていました。とても貴重な経験ができた一日となりました。

おしごと紹介

その35 **お茶のサービス**

小さな手にぴったりと合う、子どもサイズの本物の急須、本物の湯飲み茶碗、茶托にお盆。

幼稚園には「お茶のサービス」のおしごとがあります。急須の中に茶葉を入れ、お湯を注ぎます。その間に湯飲み茶碗にもお湯を注ぎ、温めます。湯飲み茶碗の準備が整った頃、良い香りと急須の中には緑色のきれいなお茶が入っています。「美味しい温かいお茶をお友達に飲んでいただきたい。」そんな思いで急須をしっかりと持ち、真剣に慎重に集中して淹れていきます。お盆に乗せて、ゆっく

りとお友達の前に運び「どうぞ」と一言。お友達が飲み終わる「ありがとう、おいしいかったよ」と言われると笑顔になり、とても満足した時間が流れます。誰かの役に立て、誰かに喜んでもらえる経験は自信へともつながっていきます。

すごくおいしいよ ありがとう♪



小学校

Elementary School

六年生への言葉

校長先生から

小学校校長 早坂 博之

六年生の皆さん、ご卒業おめでとう
ございます。

皆さんへの思い出は何といっても
「歌」です。

皆さんが五年生のとき、在校生代表
として出席した二〇二二年度の卒業
式。皆さんの歌声を聞き、その明朗さ、
息の合った歌声にとても感動しまし
た。すべて音楽専科の古川先生に、
「もっと、鍛えてください。そしてコ
ンクールに出しましょう。」とお願いま
しました。そして、皆さんご存じの通
り、コンクールの参加を果たしまし
た。その後は歌う機会も増え、歌うた
びに上手になって、聞きごたえのある
ハーモニを身にまとい成長していく
姿を間近で見ることができたこと、本
当にうれしく楽しい一年でした。

そんな皆さんへ聖書の一節を贈りま
す。
「求めなさい。そうすれば、与えられ
る。探さなさい、そうすれば、見つか
る。門をたたきなさい。そうすれば、
開かれる。」(マタイによる福音書)

これは信仰生活についての言葉かも
しませんが、強く求めれば願いは叶
う、と考えられそうです。求めること
には行動が伴います。努力すること
同義だと思えます。そうすれば叶うの
だと信じることも。

これから皆さんは、半分大人と見な
される曖昧で中途半端な時期を過ごす
こととなります。
この時期は、長い人生の中でも貴重
でかけがえのない時間です。小学生の
ときは、与えられることの方が多く、
求めなくとも周囲の皆さんや親御さん
が手を差し伸べてくれたり、アドバイ
スしてくれたり、それこそ生きるた
めに必要なことはすべて、与えても
らったと言っても言い過ぎではありません。
せん。

でも、これからは、自分から求める
ことが必要であり、それも強く求めな
ければ、手に入らないこともたくさん
でてくるはず。さらに現実、望
めば全て叶うほど単純でもありません。
それでも、なりたいたい自分の姿は努力
でしか手に入れることはできません。

そのために、探さなければならぬ
し、自分の師(先生)を見つけるため
に、門をたたくことがとても重要で

す。勉強だけでなくスポーツでも、趣
味の世界でも、望む姿を追い求めるこ
とは、それ自体が楽しいことでもあり
ます。そして、後々大きな財産に代わ
ります。

何かを実現していくには、素晴らしい
仲間や導いてくれる師が必要で
す。

臆せず「求め、探し、門をたたき」
続けてほしいと思います。

その先にある自分を信じて。

一年生から

バスをおりたときに、いつも手を
ふってくれてうれしかったです。わた
しも、つぎの一年生に手をふりたいで
す。中学校にいても、げん気におべ
んきようをがんばってください。いつ
もおうえんしています。
石山 あおい

うんどうかいのかけっこでまけそ
うになったとき、おうえんしてもらえ
うれしかったです。一いにはなれなかつ
たけれど、六いから四いになれまし
た。二年生になってもわすれません。中
学生になってもがんばってください。
大久保 穂乃白

また明日 涙こらえる 最後まで
二階堂 愛理

旅立つ日 終わりを告げる あの子やい
根子 麻桜子

歌い出そう 私たちの声 いつまでも
野津田 百香

運動会 心を燃やせ えいせいおう
ヤブ 椋巴

卒業だ 笑顔で伝える さようなら
吉村 香保

夢を追う 信じた先に 日本一
五十嵐 胡桃

六年後 小さくなった ランドセル
遠藤 采音

この校舎 行くのも少し ありがとう
大泉 紅夏

ランドセル 背負って登校 あと少し
大泉 愛

ランドセル 思い出詰まる 宝箱
鎌田 唯花

今までの 思い出かえ 羽ばたこう
酒井 紅羽

笑顔の実 いっぱいになり 満ちている
佐藤 凜

またいつか 笑顔できると 会えるはず
須田 菜々美

補助バッグ よこれた姿 思い出す
高野 心寧

桜組

六年生 卒業に向けての一句

ありがとう あとと言える日も 何日か

みんなとの 楽しい日々を 忘れない

いままでの 騒がしい日々 あと少し

満開の 桜の下で また会おう

たくさんの 思い出かえ 卒業へ

いただいた 優しさ胸に まえ進む

三つ編みは 六年間の 思い出だ

山桜 ツバメ飛び立ち 突き進む

中学で 絶対咲かせる 桜の花

セーラーに 袖を通す日 数えつつ

友達と 一緒の時間 宝物

制帽を かぶる日々も 思い出に

コロナ禍も 乗り越えてきた 仲間たち

田中 築

菊組

また明日 涙こらえる 最後まで
二階堂 愛理

旅立つ日 終わりを告げる あの子やい
根子 麻桜子

歌い出そう 私たちの声 いつまでも
野津田 百香

運動会 心を燃やせ えいせいおう
ヤブ 椋巴

卒業だ 笑顔で伝える さようなら
吉村 香保

夢を追う 信じた先に 日本一
五十嵐 胡桃

六年後 小さくなった ランドセル
遠藤 采音

この校舎 行くのも少し ありがとう
大泉 紅夏

ランドセル 背負って登校 あと少し
大泉 愛

ランドセル 思い出詰まる 宝箱
鎌田 唯花

今までの 思い出かえ 羽ばたこう
酒井 紅羽

笑顔の実 いっぱいになり 満ちている
佐藤 凜

またいつか 笑顔できると 会えるはず
須田 菜々美

補助バッグ よこれた姿 思い出す
高野 心寧

私たち 永遠の仲 忘れない
東條 世菜

今までの 自まんの日々を 白百合へ
ニールソン 華衣麗

その笑顔 また会えるかな 白百合で
西巻 陽花

桜まう みんなの笑顔 また見たい
畠山 愛律

ホテルでの 夜のおしゃべり またいつか
原 彩乃

学校に お別れするの あと少し
武藤 ここの

大切な 思い出すつと いつまでも
山田 奈歩

美しい 歌声ひびけ 未来へと
渡辺 和心



河野大空見先生



中里香先生

6年間の思い出



1年生 遠足 八木山動物公園



2年生 昔遊び 桜・菊組で交流



3年生 社会科 消防署見学



4年生 理科 オンライン授業「水育」



5年生 学習発表会「ダンスホール」



6年生 修学旅行 パナソニックセンター東京

きょうじつのおそうじをしてくれ
たいいくかんでおにごっこをして
くれたりしたのしかったです。やさ
しくていつもげん気な六年生のよう
に、わたしもなりたいです。六年生大
すきです。

菊地 漣

雨の日にランドセルをふいてもらっ
たり、バスをおりてから手をつないで
いっしょに歩いてくれたりしてくれ
かったです。やさしくていろいろ手つ
だしてくれるおねえさんのように、わ
たしもやさしくなりたいです。

鍋島 紗希

五年生になって、廊下を歩いている
と、六年生のお姉さんと一年生がおに
ごっこをしているのをよく見かけまし
た。どちらも、ここにいていて楽し
そうでした。私もいつか六年生のお姉
さんのようにお話をしたいなと思
いました。私たちは、六年生が中学校に
行っても、元気に過ごせるようお祈り
しています。ありがとうございま
した。

宮城 響子

委員会のときに六年生がやさしくし
てくれて、少すつ、私の人見知り
が少ない人にも声をかけられるようにな
りました。実際に友達との交流の仕
方を教わったわけではないけれど、アド
バイスを受け取った気がしました。



五年生から

私たちが一年生のころ、二年生の教
室で、全員いっしょに遊んだことを今
でも覚えています。列車ごっこや、い
ろいろなゲームをしました。その日
は、私にとってかけがえのない日
です。それ以外にも、花の種をもらい、
とてもうれしかったです。一つひとつ
のことに對して、お礼をすることは
できていませんが、思い返せば、とても
お世話になったなと思っています。

お姉さんたちが
卒業しても、仙台
白百合学園小学校
の光は絶えませ
ん。私たちが引き
つぎます。

金子 陽葵



長崎研修旅行を終えて



研修旅行で長崎を訪れ、初めての土地で新鮮で充実した3泊4日を過ごしました。長崎ならではの感動的な瞬間がいくつもあり、中でも特に心に残る3つのエピソードがあります。

1つ目は、長崎原爆資料館で見た原爆による後遺症を負った方の写真でした。左顔の目や耳がつぶれ腫れており、被害を受けた男の子の写真は非常に痛ましく、その悲劇に触れることで戦争と原爆の悲惨さ、人間の愚かさを痛感しました。特に、当時14歳だった男の子の未来が一つの爆風で奪われた事実に衝撃を受けました。2つ目は、平和記念公園にある被爆者が水を求めてさまよっ

た少女の手記を刻んだ石碑でした。最初は見た目が汚い水に驚きましたが、被爆者の「熱い」という言葉を思い出し、その水しかない中で少女が飲んだ辛い瞬間を想像すると、胸が痛みました。3つ目は、聖母の騎士修道院での講話でした。コルベ神父の勇気ある行動や、家族を愛することが平和であるという考えに触れ、私にとってとても新鮮に感じました。

長崎は鎖国時代のキリシタン、原爆の被害を受けた土地として、平和と命について深く考えさせられる場所でした。講話で呼びかけられた通り、来年18歳で選挙権を得る私は、長崎での経験を踏まえ、平和を追求し実現するための一票を大切に投じたいと思いました。

ハウステンボスや長崎名物の皿うどんを楽しむ中で、長崎ならではの楽しい時間も過ごし、思い出に残る研修旅行になったと思います。今後も長崎で得た教訓を生かして、平和を実現する一人として生きていきたいと思っています。

高校2年 佐藤 茜

～ 国内英語研修で学んだこと ～



私は、この冬休みに国内英語研修で2日間東京グローバルゲートウェイ(TGG)の研修に参加しました。両日も英語しか使用できない環境での研修だったので、参加前は不安に感じていました。1日目の体験では、飛行機の機内でのアナウンスや、機内食の注文、離着陸時の安全確認など、実際に海外旅行をする際に役立つ場面を想定した体験を行いました。また、オーストラリアの高校留学疑似体験を通して文化やこの原理について学び、英語のコミュニケーションを楽しみました。2日目の体験では、レストランで注文をしたり、旅行プランを立てたり、薬局で買い物をしたりと、海外で生活する際に役立つ場面を想定した体験を行いました。また、演劇の授業では、英語でのセリフを覚えて、寸劇を披露しました。2日間の研修を通して、コミュニケーションにおいて大切なことは、間違いを恐れずはっきりと自分の意見を言うことだと感じました。また、東京に行って驚いたことは、外国人の方がとても多いことでした。私は、これまで英語で会話する場面が少ないと感じていましたが、東京の様子を見て、これからの生活の中で英語でコミュニケーションをとる場面は増えて行くだろうと思いき、改めて英語学習の大切さに気づきました。今後は、この経験を活かして、躊躇せずに英語を話し、英語でコミュニケーションをとる場面で困らないように日々の勉強に取り組んでいきたいと思っています。

高校2年 遠藤 愛佳

ポーランド・フレンドシップ

「オンライン交流会」を開催しました



2013年に始まったポーランド友好訪問は、コロナ禍と戦争の影響で、今年もオンラインでの開催となりました。私は高校1年生のころからこの交流会に参加しており、オンラインを活用してポーランドの学生とお話してきたことに感謝しています。この交流では、ポーランドの学生の日本への強い愛情に触れ、言葉や文化の違いを乗り越えて、一緒に楽しく有意義な時間を過ごすことができたと感じました。特にクリスマス会では、聖歌「しすけき」をポーランド語と日本語で歌いました。国や言葉の違いが、より一層楽しさを際立たせてくれました。また、クリスマスは私たちがKFCやケーキを食べる一方で、ポーランドでは家族で静かに過ごす様子が印象的でした。一刻も早く、コロナ禍と戦争が終息し、一日も早く、お互いの国を訪れ、実際に異文化交流できることを願っています。この交流を通して得た経験は、私の人生においてかけがえのない財産となりました。

オンライン交流会を準備し、支えてくださった皆様に感謝しながら、最後のオンライン交流会を楽しみたいと思っています。

高校3年 李 安陽

第76回 宮城県高等学校美術展 優秀賞

私は第76回宮城県高等学校美術展に作品を出展し、優秀賞をいただきました。作品名は「Cuddle」(カドゥル)です。「Cuddle」には「寄り添う」という意味があり、ペンギンたちがお互いを温めあい、仲間に安らぎを与えているという意味を含めました。この作品は約2ヵ月間の制作時間となり、南極の寒さを表現するため、主に寒色を使用しました。ペンギンの個性を出すため、それぞれ違う色にし、ドライなタッチで描くことによって、ペンギンのふわふわな様子や粉雪を表現しました。また、雪の結晶は白いペンで丁寧に描き、それぞれ違うパターンにすることによって絵に繊細さを加えました。雪が太陽に反射してキラキラ輝く様子を表現するため、グリッターも使用しました。そして額にも結晶を描き込み、最大限に雪の世界を広げました。今回は3年間の中で最後の作品となりましたが、過去の作品から学んだ知識や経験を最も発揮することができ、納得のいくような作品となりました。3年間美術部に所属し、絵を描くことで自分の表現したい作風を見つけたことが出来ました。



優秀賞 「Cuddle」

高校3年 林 真生

この作品「境界の麒麟」は、私が描いた作品の中で最も大きいサイズのS50で制作したものです。大きなモチーフが一つだったので、バランスが取りづらく、背景の円も何度も書き直して修正し続けました。また、今回メディウムという画材を使い、自分がやったことのない表現に挑戦しました。メディウムは絵の具と違い、思うように画面に乗せることができず、扱いに慣れるのに苦労しましたが、メディウムを使い画面にマチエールを作ることによって、画面内を退屈させることなく、より自分の絵を良い方向へ導くことができたと思います。私は今まで美術部の活動に充てられる時間がなかなか取れず、「完成した」と思える作品を作れずにいました。しかし、この展覧の絵は隙間時間を見つけて少しずつ制作を進め、今回、私の中で初めて「完成することができた作品」となりました。反省はあれど後悔はない作品です。総文祭では、普段直接見る機会が少ない他県の作品が多く集まるので、そこで鑑賞した作品から得た技術や表現も、次の作品制作に活かしていきたいと思っています。



優秀賞 「境界の麒麟」

高校2年 栗山 こゆき

私は「もう一人の博士」の舞台監督を務めました。同じ舞台監督の友希乃さんと放課後も残り、大道具のアイデアを出したり、舞台上での出入りの確認をしたりと忙しくも充実した日々を過ごすことができました。練習では、クラスメイト同士で意見を出し合い、セリフに感情を込めたり、ジャスターの練習を重ねたりと本番に向けた練習を重ねました。



中学1年 佐藤 真央

中学2年 ファイナンスパークを開催しました

2023.12.6



受講した生徒達の感想

ファイナンスパークで実際に、手取り・月収からの支出について計画を立てないとあっという間に赤字になってしまふことが分かりました。自分の知らないところでしっかり管理をしてくれている親の苦勞を改めて実感することができ、将来お金のことをしっかり管理できるようにしたいと思いました。

中学2年 千葉 詩菜

ファイナンスパークでの学習で、お金は色々な場面が必要となるのだと改めて感じました。また、手取り収入の中で生活に必要なものに支払うにはある程度工夫が大切だと思いました。将来自立して、自分一人ですべて生活するときの練習としてとても良い経験でした。

中学2年 道又 璃子

お金について詳しく知る機会が少なかったため、今回のファイナンスパークで自分が大人になったときの姿を想像しながら計画を立てることができました。使いすぎても節約しすぎてもダメ。安定したお金の使い方をしていきたいです。

中学2年 寺井 結衣

今回のファイナンスパークではお金の使い道やお金の計算などを通してお金の大切さを感じることが出来ました。私はオポチュニティ・コストを考えて計画を立てることが難しかったです。いつも生活を支えてくれている両親にあらためて感謝したいと思います。

中学2年 齋藤 ひまり

第25代 ゆり☆オケの演奏を振り返って



野外演奏会の依頼もありました!



ホール演奏は音の響きが別格です!

私たち中高オーケストラはこの1年間、学校内での演奏はもちろん、外部での演奏も多く依頼を受け、去年に比べて忙しい1年となりました。

外部での依頼演奏を通して、団員全員の団結力が上がり、演奏面でも成長できたと感じています。特に成長を感じられたのは10月30日に日立システムズホールで行われた、高校音楽祭です。学園祭を終えて高校3年生の先輩方が抜けてパートリーダーもかわり、幹部も新メンバーになった状態での初めての大きな本番でした。他校の演奏を聴くことは私たち団員にとって大きな刺激になったと思います。また併設小中学校の合唱クラブと弦楽合奏団とともに出演する機会も増え、小中高生が音楽で繋がっていく楽しさを体感することもありました。

忙しいスケジュールのなかでも私たちが演奏を続けることができたのは、顧問の先生方や講師の先生方ももちろん、多くの方の支えがあったからこそだと思います。この場をお借りして感謝申し上げます。4月には新たな団員を迎え、7月の定期演奏会に向けて「人の心に響く音楽」を目指し、また邁進してまいります。

仙台北百合学園中学・高等学校オーケストラ コンサートミストレス 高校2年 塩屋 あいみ

第25代 ゆり☆オケ ～ 演奏記録 ～

- 10月30日(月) 宮城県高等学校音楽祭 (日立システムズホール)
- 11月 4日(土) 紫山ワクワク手づくり市4 (学園なくさめの広場)
- 11月11日(土) 泉パークタウンストリートフェス (タビオ前道路)
- 11月27日(月) クリスマスツリー点灯式(学園)
- 12月 2日(土) 再始動!高森市民センターイベント (高森市民センター)
- 12月16日(土) 学園クリスマス会 クリスマスコンサート (ロザリオのマリア聖堂)
- 12月20日(水) 中高クリスマス会 合唱伴奏 (レジーナバーチスホール)
- 12月22日(金) フライデー-BRANCH仙台 ミュージックナイト ~クリスマスフェス~ (BRANCH仙台)
- 12月29日(金) イオンの第九2023 ~音楽とバレエの饗宴~ (新利府イオン南館)



10/31実施!! 校内探究発表会

中学校1年生から高校3年生までの全校生徒参加による「校内探究発表会」を初めて実施しました。各学年で実施しているSPタイム(中:総合的な学習の時間/高:総合的な探究の時間)の活動中間報告という位置づけで、発表会を経て後半の活動を深めてほしいというねらいがあります。前半は20教室に他学年どうしの組み合わせで分かれての口頭発表、後半は体育館で高II国際・探究系の生徒の個人探究ポスター発表を行いました。学年を越えての発表会だったからこそ得られた様々な気づきが、生徒の満足感と今後の活動への意欲向上につながったようです。



▲口頭発表の様子



▲ポスター発表の様子

〈生徒の感想〉

今回の探究発表会は、自分にとって成長するチャンスだったなと感じました。先輩方の発表を見たり、聞いたり、質問していることに「なるほど」と思ったり、これから生かせそうな発表ができたからです。特に質問に関して発見がありました。私が発表する教室の先生のお話で、「発表の内容をよく聞いて質問できるところを見つけられれば、発表を作るときにいいものができる」というお話をしてくれました。今回の発表をこれからは生かしていきたいです。

中学1年 今井 花音

今回の探究発表会を通して、探究というのはインターネットで調べた内容をもとに考察するだけでなく、その考察したことをどうやったら実践できるのかを考え、行動に移すまでがなければいけないことだと思いました。私たちはグループで探究をしましたが、一人で最初からテーマを決めて探究を深めていた学年もあって、常に社会の問題に目を向けておくことが大切になってくると感じました。

高校1年 荒 瞳子

探究発表会を通して、現在の課題や解決に向かっていくことなど、多くの事を学ぶことができました。私たちは、解決のために大きなことはできないけれど、日常の小さなことで実践できるものがあれば誰でもできることだと思います。やろうと思うことは簡単でも実行することは難しいですが、その一人ひとりの行動が重要なのだと学びました。これからの日々の生活のために、もっと現状について知りたいし、行動していきたいです。

中学2年 金子 桜愛

これまで探究してきたことをできる限りすべて伝えることができ、質疑応答や発表の流れにも問題がなかったため、満足しています。その一方で、他の班の発表を聞いている際に、さまざまな改善点が思い浮かび、さらに改良できた可能性を考えると少し後悔もしています。また、聴衆として参加すると、同じようなテーマでも全く違う視点から検証が行われており、結論がそれぞれ違ったものになっていたり、内容だけでなく情報の集め方にも千差万別あったりと、多くの新しい探究の方法を知り、学ぶことができました。

高校2年 川村 結衣

探究発表会は全体を通して、学びの多い充実した時間を過ごせたと思います。自分たちの発表への先輩方のアドバイスが自分たちの発表の中の改善点をたくさん洗い出してくれました。「感想を述べただけなのでは?」という鋭い指摘もありました。今回、私たちの発表は聞いてくれている人に何を伝えたいのかが明確にできていなかったと感じました。先輩方の発表を聞いていると、やはり相手に伝えたいことがはっきりしていたので、先輩方のような上手な発表ができるようになるためにも、今回学んだ相手に伝えたいことをはっきりさせる大切さを忘れられないようにしたいです。

中学3年 八木 千佳

今回校内発表会に聴衆側として参加してみて、これまで発表側であった時とは違った意識を持って取り組むことができました。今回は、中学生から高校2年生までの探究発表を聞くことができ、それぞれが何に対して課題を見いだし、それをどのように解決しようとしているのかという考えを知ることができたため、自身も新たに社会課題の現状や解決の糸口について学ぶことができました。また、今回は聴衆側としてそれぞれの発表に対して批判的な立場をとって聞く経験をする貴重な機会を持つことができ、有意義な参加になりました。

高校3年 早坂 希乃香

表彰者一覧

おめでとう

掲載の表彰者は一月末日現在のものです。

小学校

令和五年度 大会・賞・受賞者

第三十九回 宮城県小学生陸上競技交流大会 宮城県大会仙台ブロック予選会	女子コンバインドA 女子コンバインドB	第一位 六年 第二位 五年 第三位 六年	根子 麻桜子 工藤 陽菜 二ノ村 華奈
第三十九回 小学生陸上競技交流大会 宮城県最終予選会	コンバインドB 六年女子1000m	第一位 六年 第二位 六年	二ノ村 華奈 五十嵐 胡桃
宮城県ジュニアA水泳競技大会		第一位 六年	五十嵐 胡桃
宮城県小学生テニス選手権大会	小学生女子シングルス	第一位 六年	佐藤 凛
第十七回 ヨネックス杯東日本オープンジュニアゴルフ競技大会	女子小学三・四年の部	準優勝 四年	中村 美音
第六十回 仙台市民総合体育大会 陸上競技選手権大会	小学四年女子100m	第一位 四年 第二位 四年 第三位 四年 第四位 四年	宮里 美宇 眞山 紗菜 江里口 知佳

第九十回 NHK全国合唱コンクール宮城県コンクール	小学六年女子 小学五年女子 小学六年女子 小学生男女混合 四×100mリレー	第一位 六年 第二位 四年 第三位 五年 第四位 五年 第一位 六年	五十嵐 胡桃 野津田 百香 阿部 莉璃 阿部 珠季 工藤 陽菜 長瀬 弥々 二ノ村 華奈 野津田 百香 五十嵐 胡桃 二階堂 愛理 二ノ村 華奈
令和五年度 tbcこども音楽コンクール宮城大会	合唱の部 重唱の部	優秀賞 優秀賞 優良賞	工藤 咲 工藤 未景 反岡 花 西巻 陽花
宮城県冬季ジュニアテニス選手権大会 十歳以下女子シングルス	女子十一〜十二歳 100m自由形	第一位 六年 第三位 六年	佐藤 凛 五十嵐 胡桃
東北ジュニア水泳競技大会	女子十一〜十二歳 100m自由形	第三位 六年	五十嵐 胡桃
仙台市長杯フィギュアスケート		優勝 四年	新宮 紗知子
第六十九回 仙台市児童生徒理科作品展	研究の部 審査員特別賞 部会長賞	教育長賞 六年 審査員特別賞 一年 部会長賞 一年	五十嵐 胡桃 鈴木 結稀 寺建 実桜
第三十三回 日本クラシック音楽コンクール	ピアノ全国大会 小学校低学年女子の部	第五位 二年	佐藤 希咲

第十五回 河北小中学生書道展	半紙の部 三・四条幅部門	入選 二年 銅賞 四年 銀賞 六年 銅賞 六年	高橋 友香子 高橋 紗瑛子 高橋 瞳子 佐藤 朋香 五十嵐 胡桃 遠藤 采音 谷津 実月 谷津 実月
令和五年度 仙台市緑と花いっぱい絵画コンクール	小学校高学年の部 小学校低学年の部	銅賞 佳作	金子 陽葵 一條 ひかり
第五十七回 八木山動物公園動物写生大会	仙台市長賞 八木山動物公園長賞 佳作	二年 六年 二年	遠藤 仁奏 田代 七緒 柏葉 水玲 樋口 つむぎ 盛 湊実
MOA美術館 仙台児童画展	書写の部 絵画の部	東北放送賞 銅賞	六年 五年
令和五年度 こども音楽コンクール東北大会	合唱の部 重唱の部	出場 優秀賞	工藤 咲 反岡 未景
令和四年度 仙台市中学校ソフトテニス春季大会		第五位 中一 中一	高橋 凛桜 齋藤 ひまり
令和五年度 大会・賞・受賞者			
第二十二回 東北中学校選抜ソフトテニスダンロップ宮城大会	女子団体 チャレピオナーナメント	第一位 中三 中三 中三 中三 中三 中三 中三	南部 結衣 大泉 蒼空 梅原 里奈 横江 日向子 藤井 詩音 奥田 花香 齋藤 ひまり 高橋 凛桜

第三十七回 ミスノ杯争奪東北中学生研修大会	女子の部	第五位 中三	南部 結衣 梅原 里奈 鈴木 良那 藤井 詩音 横江 日向子 奥田 花香 齋藤 ひまり 高橋 凛桜
第七十二回 仙台市中学校総合体育大会	ソフトテニス競技大会大会団体優勝	勝	南部 結衣 高橋 蒼空 大泉 里奈 藤井 詩音 横江 日向子 奥田 花香 齋藤 ひまり 高橋 凛桜
卓球競技大会大会個人優勝	ソフトテニス競技大会大会個人優勝	勝	齋藤 ひまり 高橋 凛桜 高橋 凛桜 齋藤 ひまり 奥田 花香 横江 日向子 藤井 詩音 鈴木 良那 梅原 里奈 高橋 蒼空
第四十一回 仙台市泉区中学校ソフトテニス夏季大会	駅伝競走女子一区 駅伝競走女子二区	優勝 第六位	高橋 凛桜 齋藤 ひまり 齋藤 ひまり 花 香 奥田 花 香 安部 結花
第六十回 仙台市中学校弁論大会Fブロック大会		優秀賞 第五位	佐藤 ちひろ 中三
令和五年度 第七十三回 仙台市中学校英語暗唱大会	高田賞杯第七十五回 全日本中学校英語弁論大会仙台市予選大会	優良賞 優良賞	荒木 美和里 八木 千佳
二〇二三 Fratto 杯	弁論の部 暗唱の部	第四位	齋藤 ひまり 高橋 凛桜 奥田 花香 藤井 詩音 横江 日向子 奥田 花香 齋藤 ひまり 花 香 花 奈